

<h1>第 296 回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

- ◎ 日時 2017年12月22日(金)10:00～16:30
- ◎ 場所 きゅりあん 6階 大会議室
- ◎ 出席者 54名 (法人会員:21名 個人会員:12名 オブザーバ:10名 講演者:1名)

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 企画運営委員長挨拶

本日多くの参加をしていただき、新体制になって徐々に会員及び月例会参加が増えました。午後の部に向殿先生の特別講演があります。また来年には月例会が300回を迎えます。会員の皆様にこれからも有益な情報を発信していきたいと思っております。

② 会員からの要望事項

・相談、困り事等についてネットを通じて情報交換できる仕組みづくりを検討してほしい。

2) 定例報告

① 第295回月例会(東京)及び第21回企画運営委員会の概要

詳細は月例会議事録を参照。

② 第20回関西月例会・関西委員会活動報告概要

詳細は関西月例会議事録を参照。

2. 報告テーマ「空圧機器での安全規格対応」

11:00～12:00 (SMC 平田宏治様)

【概要説明】

グローバルでの標準化が進む機械安全規格 ISO13849-1 に対応し、空気圧機器を使用した『設備の安全に貢献』する手法を、具体的な空圧回路の説明。

ー 説明のポイント ー

- ・機械安全の世界の流れを考察すると国際化対応が加速している。
安全規格の選定要件は、EN62021、ISO13849がメインとなる。
安全制御、安全機能 として残圧対策が重要。
- ・再起動時の飛び出し防止対策について

基本は圧縮空気の圧を抜いてやる、安全ポジションに戻るのが安全。

・空圧の制御システム(CS)の安全関連部(SRP/CS)のカテゴリ説明。

—今後の展開—

来年も引き続き油・空圧の安全について研究していく。

配布資料 1部

資料 296-2-1 「安全規格 ISO13849-1 の対応」

3. 中間報告テーマ「産業用ロボット協働運転の安全仕様の構築」

ロボット委員会

【報告内容】

1. 委員会の目的・意義及び目標・目標要件
2. 委員会活動実績
3. 協働運転の概要・協働運転決定プロセスの手順
4. 協働ロボットの紹介(成功事例・失敗事例)
5. 今後の展開

4. 特別講演「IoT時代の新しい安全設計思想を探る」

明治大学 向殿政男名誉教授

【概要説明】

これまでの機械安全においては、隔離の安全、停止の安全が基本的な設計思想であったが、人間と機械と環境とが情報共有し、人間と機械と一緒にいることが前提となるIoT時代では、安全設計思想をどこに求めるべきかを考える。

詳細は配布資料を参照。

* 講演後、向殿先生と会員との活発な質問応答があった。

配布資料 1部

資料 296-4-1 「IoT時代の新しい安全設計思想を探る」

月例会説明資料

資料番号	資料名
296-2-1	「安全規格 ISO13849-1 の対応」
296-4-1	「IoT時代の新しい安全設計思想を探る」